

代表取締役社長 中林 毅 就任のご挨拶

—第二の創業—

グローバルな総合不動産サービスプロバイダーへの飛躍

現在、不動産業を取り巻く環境は大きな変革期にあると認識しています。具体的には、長期にわたる我が国の低金利の環境下、プレイヤーのグローバル化が一層進捗すると共に、最新のテクノロジーの発展により不動産の金融商品としての価値が高まっております。例えば、投資家層に関しては、海外の巨大ファンドによる国内投資が活発に行われる一方で、小口化・証券化を契機として従来は富裕層に限られていたマーケットに一般の人が参加する基盤が整ってきました。

アスコットは創業以来、デザイン性が高いレジデンスの開発を基軸に成長してまいりました。「空間は、もっと人の力になれる。」という信念に基づき、現在はオフィス、物流、シニアリビング、学生寮など「アセットタイプの拡大」に取り組んでおります。

また、従来の不動産開発モデルに加え、ファンド・アセットマネジメント事業や海外顧客をターゲットとした仲介事業の起ち上げといった「ビジネスモデルの多様化」に着手しております。

さらに「国際×金融×DX」をキーに顧客基盤・事業領域の拡大と共に、資金効率を高めかつ可視化された経営を展開することを志向しております。デジタルトランスフォーメーション（DX）については、2022年7月1日付で経済産業省が定める「DX認定」を取得いたしました。

アスコットは業界の新たなトレンドを迅速かつ的確にとらえ、1999年の創業より大切にしてきたベンチャー精神を以て、第二の創業ともいえるグローバルな総合不動産サービスプロバイダーへの飛躍を目指します。

尚、体制変更に伴い8月1日付けで組織改編を行いました。また、新体制下での中期経営計画は、年内を目処に発表を予定しております。

代表取締役社長 中林 毅

【主な経歴】

1982年、日本政策投資銀行に入行。2000年、独立系ベンチャーキャピタルである株式会社アイティーファームの創業に関わり、Zoom Video Communications、Treasure Data、JTowerなど日米双方での投資をシード期から手掛ける。戦略的資本提携やクロスボーダー取引など多くの企業経営支援にも従事。

2015年11月、平安ジャパン・インベストメント株式会社の設立と共に代表に就任。同社は、中国大手の保険金融グループである中国平安（PING AN）の日本におけるPrivate Equityを行う投資会社で、2016年4月に当社の大株主となる。

2017年12月、アスコットの取締役に就任し会長職を務めた後、2021年12月に代表取締役副会長就任、2022年7月より現職。
東北大学経済学部卒、ハーバード大学ケネディ行政大学院（公共政策学）修士。

